

1. 千歳市学力向上検討委員会について

- シンクタンクの役割
- 全国学力・学習状況調査で得られたデータを分析
- 千歳市の児童生徒の学力の現状と課題を把握
- 課題解決に向けた具体的な方策の提言や各学校における実践を支援する資料の提供など
- 平成29年度からは学力向上モデル校を指定
- 具体の取組の推進や成果・課題の解明を推進

①祝梅小 小中連携・一貫を意識した「定期テスト」の取組

第六学年 第一回定期テスト 国語 令和三年十一月三十日(火)実施

「日本文化を発信しよう」について学習しました。ひかるさんが作ったパンフレットの一部分を読み、あとの問いに答えましょう。「書く」

一汁三菜でバランスよく

「うまみ」をいかして

和食のおいしさの秘密は、なんといっても「うまみ」。和食の基となるだしや、しょうゆやみそなどの調味料には、たくさんの「うまみ」がふくまれています。この「うまみ」のおかげで、油分が少なくても、満足感が得られるのです。

伝統的な和食は、栄養バランスのよさが特長です。健康的な食生活のために、和食を取り入れてみてはどうですか。

①

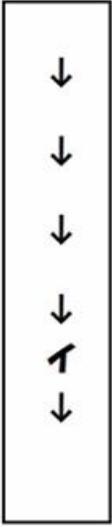
問一 右のパンフレットの見出し①には、どんな言葉が入るのがふさわしい言葉のうち、「和食」「栄養」「健康」から二つ以上の言葉を使ってよう。

問二 右の文章の ② に入る言葉をパンフレット中から選

問三 ひかるさんの作成したパンフレットについて説明した次の文を読み、いるものには×を書きましよう。

- 1 「なんといつても『うまみ』の書き方のように、言い切
 - 2 「健康」「栄養」などの言葉を使って、説得力を高めてい
 - 3 「パンも食べたい」と思わせるような工夫もしている。
 - 4 写真に番号を付け、記事では説明しきれないことをつけた
- 問四 「『パンフレット』を作るときの順番」を最初からならべて、記号

- ア 割り付けを決め、下書きを書く
- イ パンフレットを完成させる
- ウ くわしく調べる
- エ 題材を決めて、構想を練る
- オ パンフレットの構成を決める
- カ 感想を伝え合う



- 小5、6年で、秋と冬に、「定期テスト」(国語・算数)を実施
- 「積み上げて学ぶ」「中学校の学び方を知る」
- 「学習すること」の大切さを学ぶ機会に



②千歳中 スケジュール管理手帳の活用「My ゴール手帳」

自己管理能力の育成

千歳中学校 保護者と学校と生徒をつなぐ ~Myゴール手帳~

千歳中学校では、PTAが中心となって、生徒が予定や家庭学習時間を書き込む「PTAが我が子へ贈るMyゴール手帳」を活用した取組を行っています。千歳市PTA連合会が提唱する「千歳市家庭生活宣言」を受け、家庭生活での習慣づくりを進めるために企画作成し、取組は2年目に入ります。



自分の夢を書き込む「Myドリームリスト21」、日々の予定や学校からの連絡、家庭学習記録、定期テストに向けての計画、学校生活を送る上での「一日の過ごし方」「学習のきまり（授業編）（テスト編）」「校則」「生徒会会則」「Chromebook（一人一台端末）の使い方」などが盛り込まれています。

この手帳の活用によって、保護者・学校・生徒がつながり、生徒の学習習慣の形成、保護者と学校の情報共有を進め、子どもたちの自己管理能力が高まり、成長をサポートできるよう更なる取組を進めていきます。

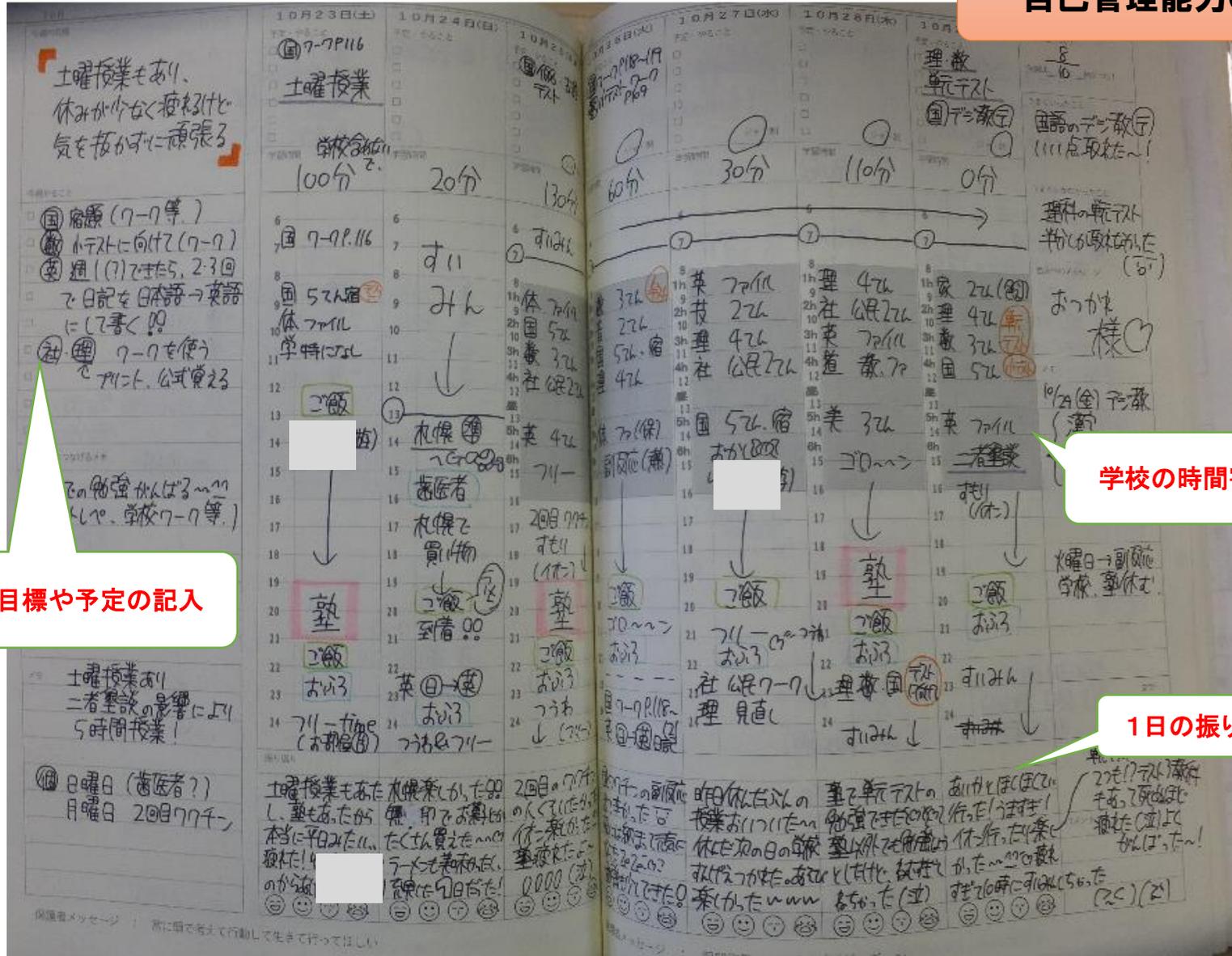
○「見通し → 振り返り → 見通し → ...」

○自身をしっかりコントロールする力

○学力向上の基礎づくり

②青葉中 スケジュール管理手帳の利用「PB(パーソナルベスト)手帳」

自己管理能力の育成



目標や予定の記入

学校の時間割を記入

1日の振り返りの文章

③末広小 家庭との連携・学力向上通信「パワーアップ」発行

家庭との連携

千歳市立末広小学校 学力向上通信 2021.10.1(金)発行 No.1

Power up

パワーアップ
発行者 学力向上担当 主幹教諭 鹿島 幸司

「学力向上」の取組にご協力を

保護者の皆様におかれましては、日頃より末広小学校の教育活動に対してご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。

さて、昨今、子どもたちの学力向上が叫ばれる中、本校としても重点に置いて教育活動を展開しているところです。学校だけで学力を高めることは難しく、家庭と学校とが連携して、地道に取り組むことが必要だと考えています。そこで、もうすぐ後期を迎えようとしている中、以下のような学力向上に向けた取り組みをスタートさせていきます。末広小学校の子どもたちの学力向上のために、これまで以上のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学力向上に取り組んでいることを、家庭へ定期的にお知らせ

○家庭にお願いしたいことを明記

○家庭との連携を重視

子ども自身が内容を決めて取り組む課題(家庭学習ノート)

①課題プリントの中で、上記の「パワーアップウィークで取り組む学習内容」を盛り込みます。
②学習する量は、プリント1枚すべてとは限りません。プリントの中の一部な場合もあります。

取り組み方 その2 ご家庭で・・・

パワーアップウィーク中は・・・

- ①ご家庭で、家庭学習ノートを使って内容を決めて学習する際は、できるだけ毎回、上記の「パワーアップウィークで取り組む学習内容」のいずれかを学習してください。
- ②学校から課題プリントが出された日も、家庭学習ノートを使用して内容を決めて取り組む学習では取り入れてください。
- ③土・日・祝日に学習する場合も取り入れてください。
- ④お子さんの得意・不得意を考慮し、どれか1つの学習内容を集中して取り組むなど、取り組み方を工夫してもよいです。
- ⑤ノート1ページいっぱいに取り組む必要はありません。学習量はお任せします。

2. 実施期間は・・・

第 1 期	第 2 期	第 3 期
10月 4日(月) ～10月15日(金)	12月13日(月) ～12月24日(金)	2月28日(月) ～3月11日(金)

★3期に分けて実施します。

★取り組み内容は、3期ともに下に記載した「パワーアップウィークで取り組む学習内容」です。

★次の取り組みの時期が近づきましたら、再度お知らせします。

3. 「パワーアップウィーク」の取り組み方は・・・

パワーアップウィークで取り組む学習内容

学年によって取り組む内容が違います。

- 1年生 ①たし算・ひき算 ②時刻～何時・何時半
③数の構成～数の合成、なんばんめ、10より大きい数
- 2年生 ①たし算・ひき算～計算の仕方の工夫、筆算、かさの加法・減法 ②時刻
③大きい数～100より大きい数
- 3年生 ①かけ算～九九の復習、2桁(3桁)×1桁の筆算 ②わり算～あまりあり・なし
③大きい数～10000より大きい数
- 4年生 ①わり算～主に筆算 ②時刻と時間～3年生の学習内容(特に時間)
③分数～3年生の学習内容(概念・計算)
- 5年生 ①わり算～主に筆算(整数、小数問わず)
②分数～概念、整数⇄小数、たし算・ひき算 ③公倍数・公約数
- 6年生 ①分数の計算(四則計算) ②小数の計算(四則計算)

★末広小学校としての家庭学習の内容は2種類です。その両方で取り組みます。

担任から指定された課題(プリント)

取り組み方 その1 学校として・・・

パワーアップウィーク中は・・・

- ①課題プリントの中で、上記の「パワーアップウィークで取り組む学習内容」を盛り込みます。
- ②学習する量は、プリント1枚すべてとは限りません。プリントの中の一部な場合もあります。

子ども自身が内容を決めて取り組む課題(家庭学習ノート)

次の号で、家庭
学習へのご協力
に感謝を伝える

パワーアップウィークへのご協力 ありがとうございました！



10月前半に行った「パワーアップウィーク」へのご協力、ありがとうございました。家庭学習ノートを使って毎日欠かさず取り組むべき内容を学習する子が多くいて、担当としてうれしく思いました。すぐに学力がつく・学習内容が定着するというわけにはいきませんが、やみくもに学習せずに、取り組むべき内容を意識して学習することによって、少しずつ力がついていくと考えます。パワーアップウィーク中以外でも、学校として課題となっている学習を家庭学習の中に進んで取り入れていってください。第2期は12月上旬に行います。実施日が近くなりましたら、連絡します。

今後とも家庭学習の取り組みへのご協力をよろしくお願いいたします！

月
日

学力向上に向けた取り組み その3

漢字、読めるかな？ コーナーの設置

過去の全国学力・学習状況調査や高校入試、大学入試の問題で出題された漢字を千歳市教育委員会で一覧にしたものがあります。それを末広小用にアレンジを加えてカードにしました。3階の学習室①②の掲示板上に貼り、4年生以上の子どもたちが休み時間にいつでも漢字の読み問題に挑戦できるようにしています。学習中だけでなく日常の中で何気なく漢字に触れ合うことで定着を図ることをねらいとしています。



表面には漢字が書かれていて、裏にはその漢字の読み方が書かれています。大学入試でも小学校で習う漢字がたくさん出題されています。ビックリですね！

中休みや昼休みに、漢字を読む姿が見られます。読めても何度もチャレンジして完璧に覚えてほしいです。



○児童が、どのように学びに向かっているかを報告

○保護者の啓発

○職員の思いが、さらに明確なものに

④ 学習者用コンピュータの利用

個別最適な学びと協働的な学び

事例2 オンラインでの課題の配信（道徳）

「Classroom」を利用して、生徒に課題を配信し、回答させました。従来紙で行っている活動も「授業」機能を使うことで円滑にデジタル化できました。

すぐにできる！実施手順

- 1 事前に Classroom で、クラスを作成し、メンバーを登録しておきます。
- 2 「授業」>「+作成」から「課題」や「質問」として、課題を配信します。

～動画で操作方法を紹介しています～

クラスでの課題配信（手順2）

<https://youtu.be/3O8cSTvH9Is>

※掲載している動画は「千歳市ICT情報局」でも公開しています。



事例2 作品の提出・共有（向陽台小学校）

向陽台小学校では、2年生の学活で、撮影した写真を共有する活動を行いました。自己・他者理解を深めるため行った「いいとこさがし」では、「いい」と思ったものを児童が各自撮影し、グループで交流しました。発表する児童が、友だちの顔や作品の写真を見せながら「いつも笑顔がいいね」、「この作品を作るとき、真剣に作業をしていたよ」と伝えると、伝えられた児童からは「照れるけど、嬉しいよ」、「自分で思っていなかったところを教えられてびっくりした」と声が上がりました。



また、友達作りを促進するため、「挨拶で名刺交換」として、自分自身や自分が好きなものの写真に、名前や紹介などを書き込み、発表し合う活動も行いました。「自分の名前は大きく書こう」、「好きな食べ物や、苦手な教科も書いておこう」など、工夫を凝らした画面上の“名刺”を見せながら自己紹介を行うと、児童からは「クラスメイトのことを知ることができてよかった」、「写真があったので話しやすかった」との感想が寄せられました。

これらの活動では、子どもたちが撮影した写真等は、「Googleドライブ」で作った学級の共有ドライブに保存させるようにしました。全員がお互いの写真等を簡単に見合う（共有する）ことができるほか、先生からの確認も容易になります。また、ドライブは、校務用コンピュータ等でもアクセスすることができるため、向陽台小学校では授業後、児童が作成した“名刺”を印刷して配布したところ、大変喜ばれたそうです。こうした活用は、図工・美術の相互鑑賞、理科の観察などでも役に立ちそうですね。





青葉中学校では、3年生の国語で「走れメロス」を題材にディベートの学習を行いました。とある罪で処刑されることとなった主人公メロスは、妹の結婚式のため、親友を人質にして得た3日の猶予の間走り続け、最後には処刑を命じた王の心をも動かします。授業では、困難に打ち勝ったメロスが「勇者か否か」をテーマに、初めに各自で自分の主張と理由について考えた後、班ごとに各主張に立ち、理由や根拠を整理しましたが、こうした考え等の整理に、ホワイトボード機能「Jamboard」を活用しました。「Jamboard」では、1つのデータに複数人で同時に書き込んだり、付箋を貼ることができるため、グループなどでの考え等の整理に役立ちます。任意の背景を設定することもでき、青葉中学校では、思考ツールとしてピラミッドチャートを作成しました。作成したページ（フレーム）は複製できるため、思考ツール等を用いる場合には、複製し、1フレーム目を1班、2フレーム目を2班…と割り当てると便利です。

実施手順

- ①「Jamboard」で事前に使用するデータ（Jam）を作っておく。
- ②事前に「共有ドライブ」を作っておく。
- ③「共有ドライブ」でJamを共有する。
共有したJamは共同編集できる。



事例7 資料を共同編集して発表（青葉中学校）



協働学習

青葉中学校では、修学旅行に学習者用コンピュータを持っていき、自主研修の様子を撮影し、後日、それらを用いてグループごとに発表資料を作成し、発表会を行いました。資料の作成には、プレゼンテーション資料が簡単に作成できる「スライド」を使用しましたが、Google Workspace for Education アプリの多くは、1つのデータを複数人で同時編集できる機能を有しています。修学旅行を振り返りながら、役割を分担して協働的に資料を作成することで、各グループでは自然と生徒間の対話も生まれ、考えやアイデアを伝え合ったり、協力し合う様子が見られたほか、同時に作業を進めることができるため、作業時間の短縮も図られました。工夫を凝らしたスライドを用いた発表会では、時折笑いも起こりながら、生徒たちは各グループの発表に聞き入っていました。



実施手順

①上記事例7の手順で写真を撮影し共有する。



②「共有ドライブ」で「スライド」を共有する。



③共有したスライドは共同編集できる。

写真等を挿入しながらグループで編集する。



3. まとめ 【「学校への提言」】

「学校に対する5つの提言」

- ① ハイパーQU検査を活用した学年・学級経営の充実
- ② 自尊感情や自己有用感を高める取組の充実
- ③ 「学校改善プラン」の検証改善サイクルの確実な運用
- ④ 学習指導の改善
- ⑤ 習熟度別少人数指導の充実